

躍進する 女性陣

第791回

ウィズ（宗吉秀之社長、千葉市）の金子奈々絵さんは、同社へ入社してから来年の3月で10年目を迎える。パートから始まり、今年10月1日で常務へ昇進した。

金子さんは同社へ入社する前、「子どもが小学生になるタイミングで、漠然と仕事を始めようと考えていた」とい

う。そこで、たまたま日曜日の朝、新聞の折り込みチラシで見つけたのが同社の求人。「今考えると運命的だった」と金子さんは振り返る。他の会社は見ず

に、同社に決めたという。ただ、金子さんには働く上で譲れないものがあった。それは、踊りながら全身運動ができる、ジャザサイズ。ジャザサイズは、金子さんにとって、気の置けない主婦仲間と集まる大切なコミュニティでもある。取材日にも、午前中に汗を流



ウィズ
金子奈々絵さん

趣味との両立が輝く秘訣

「当時はジャザサイズを始めて3年、熱中していた。両立できないなら仕事はやりません、くらいの勢いだっ」と明かす。

平日の昼にクラスがあり、その日以外で働けるか交渉した結果、同社はこの条件を快くのんだ。それから金子さんはパートの時短業務で経理事務をこなしながら、大好きな趣味に没頭することができたという。

「人の成長があれば会社は成長すると思っ」ていた。両立できないなら仕事はやりません、くらいの勢いだっ」と明かす。

「会社の成長ももちろん望んでいるが、私は人の成長の部分で支えていきたい」と話す。

「ちゃんと働きたい」と話す。

自分らしさを大切にできるような生き方ができる」とし、「こんな働き方ができるのは、何でも挑戦させてくれる社長のおかげ」と宗吉社長に感謝する金子さん。

母親でも上司でもない、「金子奈々絵」に戻れるコミュニティの存在が、金子さんの輝ける秘訣でもある。

（越後桃子）